

令和6年度 松本市差別撤廃人権擁護審議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年3月25日（火）午後2時～3時
- 2 開催場所 Mウイング3階 3-2会議室
- 3 出席委員 石坂清子委員、市村はる美委員、猪又竜委員（オンライン）、
砂山誠委員、高木美好委員、戸田竹廣委員、平谷哲治委員、
深井久仁彦委員、藤野一男委員
- 4 欠席委員 小椋早希子委員、加藤市朗委員、勝野おき江委員、小林珠美委員、
佐々木保好委員、近松知志子委員、中川満英委員、布野竹二委員、
柳澤秀信委員
- 5 事務局 住民自治局長（逸見和行）、人権共生課長（奥原恵子）、
人権共生課課長補佐（山本修平）
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 変更委員の紹介
 - (4) 議事
 - ア 松本市犯罪被害者等支援条例の施行状況について
 - イ 松本市人権関連施策について（令和5・6年度事業実績）
 - (5) 閉会
- 7 会議の要旨
 - 議事ア 条例の施行状況、啓発事業の取組みについて事務局から説明
 - 議事イ 松本市人権関連施策について事務局から説明

○ 議事ア

<議長>

松本市犯罪被害者等支援条例の施行状況について説明をお願いします。

<事務局>

条例の施行状況について資料を用いて説明

<議長>

ご意見ご質問があるという方お願いいたします。（質疑なし）

○ 議事イ

<議長>

松本市人権関連について事務局から説明をお願いします。

<事務局>

松本市人権関連施策について資料を用いて説明

<議長>

説明をいただきました。ご意見ご質問があればまたお願いいたします。

<委員>

小学校などでいじめの問題がとて増えているように感じますが、いかがでしょうか。

<事務局>

小・中学校におけるいじめについては、教育委員会が定期的に調査を行うとともに結果を公表しています。

市の取り組みをご紹介させていただくと、大手事務所に「こころの鈴」という相談機能を設置しています。ここには子ども本人から、いじめや友達に関する心配の相談が寄せられています。

また、人権擁護委員活動のひとつとして「SOSミニレター」があります。これは先生や、お父さんお母さんを介さず、直接、法務局に相談内容が届けられる仕組みとなっています。

<委員>

職員課が開催している障がいに関する研修について、障がい福祉課職員やハローワークの職員とったいわゆる有識者の方が講師となって実施しているようですが、例えば障がいを持った方が講師を務めるというような当事者が登壇している研修はありますか。

<事務局>

犯罪被害者等支援に関する研修では、危険運転で息子さんを亡くされた方からお話を伺いました。

また、セクシュアリティに関する職員研修では、トランスジェンダー当事者の方に市役所にお越しいただき、ご自身の経験からセクシュアリティに対する理解の拡大が必要だという趣旨で、研修会の講師をお務めいただいたことがあります。

<委員>

なぜこのような質問をしたかという、有識者や専門家の方からのお話だと知識は得られますが、頭だけではなく心で感じてもらうためには当事者を積極的に講師としていただくと効果があるのではないかと思います質問させていただきました。

<事務局>

当事者の方からお話をいただくような取組みは人権共生課が主催する研修会でも行っていますが、今後、研修会を企画する上でいただいたご意見を参考にしてまいります。

以上